

# みさと

議会だより



美郷町議会だより

第5号

平成18年1月

第4回定例会

指定管理者制度条例の制定  
「人権尊重の町宣言」を決議



# 美郷町議会第4回定例会報告



議長  
吉田 義雄

平成17年第4回定例会は、12月9日に招集され会期を16日までの8日間と定め開会しました。今定例会の主な議案は指定管理者制度導入に伴う条例制定、人事院勧告に伴う一般会計及び特別会計補正予算、工事請負契約締結の変更等19議案について審議し、5日目に行われた一般質問には9人の議員が質問に立ち活発な意見が交わされました。また議案については原案のとおり可決し16日に平成17年最後の定例議会を閉会しました。

## 第4回定例会で可決された議案

### 条例

- 美郷町ゴールデンユートピア条例の制定
- 美郷町潮温泉大和荘条例の制定
- 美郷町潮交流研修宿泊施設条例の制定
- 美郷町希少林産物等展示販売施設設置及び管理に関する条例の制定
- 美郷町力ヌ一の里条例の制定

～ 以上は指定管理者制度関係条例 ～

※ 指定管理者制度とは…「公の施設」の管理運営を民間の事業者、団体にも任せることができる制度

- 美郷町簡易給水施設条例の一部を改正する条例の制定
- 美郷町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 美郷町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定

### 予算

- 平成17年度美郷町一般会計補正予算(第4号)
- 平成17年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成17年度美郷町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成17年度美郷町君谷診療所特別会計補正予算(第1号)
- 平成17年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成17年度美郷町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)
- 平成17年度美郷町老人保健特別会計補正予算(第1号)

### 一般事件

- 専決処分の承認を求めることについて(大田地域広域市町村圏振興協議会規約の一部を改正する規約)
- 工事請負契約締結の変更について議決を求める件(町道京覧原柵谷線)
- 工事請負契約締結の変更について議決を求める件(町道笹目線)
- 工事請負契約締結の変更について議決を求める件(町道志君線)

## 陳情

本定例会に5件の陳情が提出され、それぞれ所管常任委員会へ付託し審議されました。また、継続審査中であった陳情2件についても審査結果報告がされました。

### 教育民生常任委員会

- 消費者行政の充実強化を求める陳情 …………… 審査結果 採 択
- 福祉医療に関する陳情 …………… 審査結果 継続審査
- 美郷町精神障害者デイケア施設を備えた共同作業所設置を求める陳情 …… 審査結果 採 択

### 産業建設常任委員会

- 国道375号JR潮駅より曲利地区までの歩道設置について …………… 審査結果 採 択
- 宅地等水防災対策について …………… 審査結果 採 択
- 町道山手線・大歳線改良について …………… 審査結果 継続審査
- 美郷町商工会設立に係る指導環境の整備拡充補助金の要望について …… 審査結果 採 択

## 議員発議

定例会最終日に議員提案による人権尊重の町宣言と道路整備財源確保に関する意見書が提出され全会一致でそれぞれ原案のとおり議決しました。

#### 「人権尊重の町宣言」決議

人はすべて生まれながらに自由と平等であり、人間として尊ばれ、人間として生きる権利を有しています。

私たちは、過去幾多の試練を経て、基本的人権の享有を保障する日本国憲法のもとに、真に平和で民主的な社会の建設につとめてまいりました。

そして私たち美郷町民は、町民憲章の精神を根幹として豊かな町民性の涵養につとめてきたところであります。

しかし、現実の社会では、ややもすれば利己主義・人命軽視の風潮や、差別意識の温存、助長する社会意識、道徳心の欠如など、人権尊重思想の不徹底さがあります。

そこで、新町「美郷町」となった今こそ基本的人権の尊重について、町民全体の目標として、町民のためまぬ努力と英知によって、その実現をめざし、住み良い明るい町の建設に邁進するため、美郷町を「人権尊重の町」とすることを宣言します。

以上、決議する。

平成17年12月16日

島根県邑智郡美郷町議会

#### 道路整備の財源確保に関する意見書

道路は、活力ある地域づくり、快適な生活環境や安全で安心できる国土の実現を図るうえで中核的な役割を担っており、次の世代に誇ることのできる中山間地域を形成するために必要不可欠な社会基盤である。

しかしながら、本町では過疎化、少子高齢化が進む中で人口の定住化や地域活性化に取り組んでおりますが、道路整備予算は毎年右肩下がりととなり、合併時に計画いたしました新町建設計画も一年足らずで計画変更等を余儀なくされる状況である。

こうした中、政府においては、道路特定財源の一般財源化や他の用途への転用など、様々な議論がなされておりましたが、この程、小泉首相は一般財源化を検討するよう指示がなされた旨の報道がされたところである。

こうした議論は受益者負担の考えに基づく道路特定財源の課税の趣旨に反するとともに、本町のように整備が遅れている中山間地域の道路整備は更なる遅れにつながり、救急医療、震災対策など喫緊の課題解決策を含めた道路整備に対するニーズに応えることができなくなる。

よって、国におかれては、このような中山間地域の実情を深く認識され、次の事項を実現されるよう強く要望する。

1.道路特定財源については、受益者負担の考えに基づき使途拡大など他の目的転用することなく全額道路整備に充当し、地方の道路整備を強力に推進すること。

2.山陰自動車道や中国横断自動車道尾道松江線等、地方の遅れた高規格幹線道路を重点的に整備・推進し、一日も早く完成に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

島根県邑智郡美郷町議会

# 9人登壇



町長  
沖野 健

# 一般質問

## 指定管理者制度の導入を問う

公募は5施設について行なう



景山良材 議員

### 問

指定管理者制度は、公の施設の管理を、民間企業やNPOまで広げることにより、住民サービスと経費の節減をはかることを目的とされている。

- ① 本制度のもとでは「指定」という行政処分にもとづくもので、契約とは異なる関係になるとされている。
- ② 公募に際しての選定条件は
- ③ 本制度を導入する施設は
- ④ 経営形態と従来のサービス提供はどうか
- ⑤ 職員の身分はどうか

### 答

沖野町長

① 法律の改正で、来年9月までに、公の施設について、直営か、指定管理者制度の導入かを決める。特別な事情がない限り、公募とする。

複数の応募があった場合、選定委員会を設置し選考するが、事業計画書が住民のサービス向上、平等利用がはかられること。施設の設立目的・効用が最大限発揮できること。施設の適切な維持・管理と経費の縮減がはかられること。安定して管理を維持する、物的人的能力を有すること等、このすべての条件をみたす



指定管理者制度が導入される施設

ことが必要である。

② 公募は当面、町内の範囲で行なう。

③ 導入する施設は、ゴールデンユートピア、潮温泉大和荘など5施設とする。農業施設と集会施設は、委

託の形態を調査し、3月までに判断する。又、給食センター、防災施設、上下水道など、住民のライフラインにかかわる施設は、公募にできないので、直営を考えている。

③ 公募により現在の委託先が変わった場合、施設の設  
立目的、当初の運営コンセ  
プトが希薄になるおそれがある。ゴールデンユートピアについては、町民の健康増進が目的であるので、協定を結びサービス低下にならないようにする。

④ 新しい指定管理者にな  
った場合、現在の雇用契約は終了し、新しい契約となる。その際新しい指定管理者との雇用条件の変更となるが、当町は、定住対策の一環として施設の職員の雇用もはかっている。当面、職員の雇用の場を確保することも視野に入れながら、導入する。

## 国勢調査結果における 本町の人口減少対策は

### プロジェクトチームの組織化で検討



原 修 議員

**問** 5年に一度の国勢調査結果、減少率10・8%と最も高かった本町は、交付税の減少分は年間1億5000万円との報道がなされた。この事を深刻に受け止め、中長期的にしかも総合的に人口減少対策を講じて行かなければな

らないが、次のことに對し町長の所見を伺う。

① 速報値をどのように受け止められたのか。さらに、要因について具体的に。

② 人口減少対策を具体化するためにも、プロジェクトチームを立ち上げること強く提案する。

沖野町長

## 答

① 社会現象に歯止めをかけるべく、諸施策を進めて来たが、県内で一番という減少率になり厳しい結果と受け止めている。主な減少要因は高い高齢化率と少子化によるものと考える。高齢化率が高くなる原因は、若者の流出が一番の原因であり、5年間平均して毎年57人が町外に流出していることとなる。又死亡が年平均117人に対して、出生は年平均34人と云う結果であり、島根県の自然減少率0・27%に對し美郷町は1・43%で実に

5倍のスピードで減っている。

② 若者の転入と定住を進めることが今後の緊急の課題と考えている。その為には住宅の整備、上下水道の整備、雇用の場の創出、少子化対策、結婚対策など幅広い施策の連携が必要であり、全庁を網羅した強力な推進体制の構築が必要と考

えプロジェクトチームの組織作りを検討しており、早急に関係各課や議会、連合自治会など幅広い機関に呼びかけて参りたい。

## 石見銀山遺跡の 世界遺産登録に伴う地域振興策を 観光振興のチャンスとなる

## 問

2年後の世界遺産登録が迫る石見銀山遺跡、地元大田市では企業や住民の関心が高まり新たな動きが目立って来ている。「銀の道」と云われる陸の輸送路銀山街道は大森から赤名への道であり本町も深く関わりを持っている。地域振興の「好機」と

とらえ、人づくりとまちづくりへも的確に手を打って先ず動くことを提言し、次の3点について考えを伺う。

① 県に對し、どのような働きかけをされているのか、されようとしているのか。(県教委・商工部)

② 地元大田市、そして飯南町と連携していくべきと



银山街道 (小松地地内)



③ 当時の面影を留める箇所は限られるが、再調査しマップ・看板の作成、或いは街道筋のポイント的な所に當時を偲ばせる施設を整

備して地域振興を図ることを提案する。

沖野町長

**答** 美郷町に隣接する大田市で世界遺産が誕生し、新たに大きな人の

動きが生まれるということ  
は、美郷町にとっても観光  
振興のチャンスとなり、こ  
れに大きく期待する。

田辺企画課長

① 現地点では教育委員会  
等への働きかけは行ってい  
ない。

県では世界遺産登録後の  
人の動きを注視する中で、  
広域的な取り組み課題とし  
て考えている。

沖野町長

② 大田市、飯南町、美郷  
町の1市2町の助役レベル  
で年明け早々にも検討会を  
持ちたい。

田辺企画課長

③ 県の中山間地域リー  
ディング事業の指定を受け  
て、田舎ツーリズムなど進  
めている。その一環で18年  
度に町内の銀山街道を舞台  
にした田舎ツーリズムの企  
画と、史跡看板の整備を計  
画している。元気な集落づ  
くり事業においても、沢谷  
地域・別府地域の計画の中  
で、看板整備や史跡の復元  
なども計画にあがってい  
る。地域の動きと連動する  
中で情報発信を図り、あら  
ゆる機会を積極的にとらえ  
地域振興に結びつけたい。

## 鳥・新型インフルエンザ 対策について

### 県及び指導機関の指示の元で



議員 籾根正一

#### 問

鳥インフルエンザ  
は、人への感染はな  
いと言われてきたが、高病  
原性鳥インフルエンザ（H  
5N1型）は人へも容易に  
感染するよう変異して出現  
すると考えられている。こ  
の程、中国で人への感染が  
初めて確認されたところで  
あり、東南アジアにおいて  
も、インフルエンザ感染に  
よる死者もでている。新型  
インフルエンザについて  
は、免疫がなく国内で発生  
した場合17万人〜64万人の  
死者が出ると予想され危機  
感を持っている。このほど  
厚生労働省が、平常時から  
世界的大流行まで6段階に

分けて定めた行動計画を  
発表した。町としてはどのよ  
うな対策を考えているか伺  
う。

#### 答

鳥・新型インフル  
エンザについては、  
厚生労働省又鳥根県におい  
ても対策が講じられている  
ところである。この程厚生  
労働省が発表した行動計画  
は、対策の骨子部分であ  
り、具体的な対策について  
は、マニュアルを順次策定  
していきたいと発表してい  
る。町としては、単独では  
なく、鳥根県、県央保健所  
及び家畜保健所の指示を受  
けながら実行していくこと

になると思う。又予防法に  
ついては、今後も広報等で

お知らせしたい。

## 学校給食センターの建築は

### 詰りを急ぎ年度中に報告を

町内2カ所の学校  
給食センターの内、  
粕瀨の施設は老朽化が著し  
く、県の指摘により改善等  
早急の対応が求められてい  
る。これをふまえて、今年  
6月に教育民生常任委員会  
の審議を得た後、議会にお  
いて協議の結果、給食セン  
ターを建設する決議を行  
い、併せて建設場所につい  
ては旧都賀行小学校跡地を  
決定したものと思っている  
が町長はどのように認識さ  
れているか伺う。

沖野町長

#### 答

先日の全員協議  
会において、給食セ  
ンターの現況を説明し議員  
のみなさんより意見も拝聴  
したところである。私とし  
ても建設の必要性について  
は認識しているが、申すま  
でもなく厳しい財政状況下  
であり、再度教育委員会と  
財務課で詰めをするよう指  
示した。

調整ができ次第、できれ  
ば今年度中に報告したい。



老朽化が著しい給食センター



## 猪による被害の軽減対策は

### 被害防止整備事業により助成



品川光博 議員

**問** ①「わな」  
猪が規制緩和された事を、農家へ周知徹底されたか。

② かなり高額  
の狩猟税、手数料等が必要であるが、見直し策は。  
③ 農地と隣接した林を伐採することで、猪の農作物被害を軽減できる、緩衝地帯を設ける実験を推進したらいかがか。

沖野町長

**答** ① 本県では「わな」猪に限定する特区が認定され、試験実施について無線で周知した。

② 狩猟は趣味で行っている方もいるが、必要にかられ、駆除班に参加する方もいる。駆除班には、1年間

の保険に加入し、班員の負担軽減につとめている。特区の狩猟者登録税の減免について、県に検討いただくよう、要請している。  
③ 牛を放牧する事で、成果が出ている。町においては、被害防止施設整備事業により、電柵を設置する事に助成を行っている。畜産農家と協議を重ね、放牧出来る条件整備を検討している。

## 品目横断的経営安定化対策を問う

### 重点課題として取り組む

**問** 平成19年度から導入される、品目横断的経営安定化対策（日本型直接支払）の計画等を伺う。

① 品目横断的経営安定化対策大綱の説明を。  
② 制度導入に伴う、農家への周知・研修会等の計画は。  
③ 集落営農組織のリーダー養成計画は。

沖野町長

**答** ① 新たな食糧・農業・農村基本計画に

おける重要施策の一つとして、平成19年産から、品目横断的経営安定化対策等を柱とした経営安定所得対策大綱を決定された。価額政策から所得政策への転換であり、全農家を対象に品目毎の価額に定着して来た政策を、担い手対策にしほり、経営全体に着目した対策に転換するとしている。現在進めている米政策改革の、生産調整支援策は見直し、農地、水、環境の保全向上

対策等を新たに導入するとされている。担い手対策としては、個別農家規模条件は4ha以上、集落経営は20ha以上、但し中山間地等で個別農家は2.6haを下限、集落営農へ50%加入し、10haを下限に緩和出来る。制度導入までに、施策の対象となる担い手の育成確保、取り組みをする関係機関が一体となって、推進する事となっている。

② 国・県の動向を見ながら、関係機関との連携を取り、情報の提供や研修会、座談会を通じ、制度の周知

## 消防組合大和出張所の存続は

### 特に救急業務の存続に努力



波多野 祐康 議員

を図って行きたい。

③ 広域的組織として、邑智郡集落営農組合連絡協議会があり、会長は、農事組合法人比敷ドリームの代表理事が勤めておられ、郡のリーダーとして活躍されている。この協議会は、郡内の組合相互の連携調整及び集落営農活性化研修会等を実施され、営農組合の強化育成、リーダー養成も実施されている。美郷町の農業振興・維持の為に、集落営農組合の設立、リーダーの育成は必要不可欠であり、重点課題として取り組む。

**問**

消防組合大和出張所は、昭和48年に

現在の場所に設置され、地域住民の生命と財産を守つ



大和消防出張所

て今日に至っており、住民も安心して生活できているところである。最近消防組合では消防署の統廃合の検討がなされ、大和出張所は廃止の対象となっていると聞く。真実であるとしたら

住民にとって何にも勝るシヨッキングなことでありその不安は言い尽くしようのないものである。現段階でどのような協議がされているか、今後の見通しはどうか。

沖野町長

**答**

消防組合の統廃合については、昭和63年から平成3年にかけて、浜田自動車道開通後の常備消防の在り方について協議した経緯があるが、結論が出ず現在に至っている。現段階では、市町村合併後の常備消防の在り方について、本年7月と9月に担当課長会議を行っているがそれ以上の協議は行っていない。

いない。今後の見通しについては各所への適正な人員配置を協議し、実施していくことになると思われる。又大和出張所は、今年1月から11月までの間で救急出動が107件を数え、月平均10件と多い。高齢化も一段と進む折から特に救急業務は町民の生命を守り、安心して生活ができるよう存続しなければならないと思っている。

## 子供の安全対策は

今後も二層、安全対策に力を入れる



安田勝司 議員

**問**

① 学校内での危機管理体制について池田小の事件が発生して4年半が経過し、学校内の危機管理体制が見直されて来た所であるが、町内小中

学校の危機管理体制はどうなのか。マニュアルは作成されていると思うが、訓練等の実施は、マニュアルの再点検は。② 登下校時の通学路の安

全対策について

昨年11月奈良市、11月の広島市、12月の栃木県今市と小学1年女児が下校中に殺害されるいたましい事件が相次いでおきた。県内で

も不審者による声掛けは68件と年々増加の傾向にある。町内の登下校時の安全対策はどうか。③ 学校、地域、警察の連携について



都賀西地域の見守り隊

子供の安全を守る為に、学校・保護者だけの取り組みでは限界がある。警察、地域を含めた全体的な取り組みが必要と思われるが当町での取り組みはどうか。

沖野町長

**答**

① 教育委員会と町内校長会・教頭会において連携会議を開催し、年1回マニュアルの見直し、点検と学校内での実施訓練をすることを確認。  
② 登下校にスクールバスを利用しており防犯に役立っている。バス停から自宅までの距離のある子や学校周辺から来る徒歩の児童について、学校でリストを作成し警察との連携で取り組んでいる。又自治会、婦人会、町社協において「声かけ」と「見守り」活動に参加していただいている。  
③ 学校や地域の取り組み以外にも、警察におけるパトロールも強化され、ひんぱんな警戒が実施されている。今後は「学校・警察連絡協議会」を中心に交通事故防止を含めた防犯対策を、一層連携して進めたい。

## 大和事務所の今後は

まほろば福祉センターへ



岡先利和 議員

**問**

行財政改革大綱 構の見直しがある。答申には、組織・機構の見直しがある。町長の考えとして、15あ



大和事務所移転予定のまほろば福祉センター

る課を8、10に再編したいとのことであるが、大和事務所がどうなっていくのか。また、公民館や交流センターの人員配置等についても考えを示されたい。大和地域の住民にとって、これらの施設に対する思いは郷愁に似た思いでもあり、

よりどころでもあることを理解の上答弁を願う。

沖野町長

**答**

行財政改革大綱の基本方針として、組織・機構の見直しを平成18年度に行うよう考えている。

農業振興課は、産業課と

一つにすれば、産業課のある本庁へ置かざるを得ない。

大和事務所の庁舎は、建築後34年を経過し、かなり老朽化している。照明や冷暖房などの維持工事費もかかることから、まほろば福祉センターの大和診療所横に空きスペースがあり、こ

こに大和事務所を移動させ、住民の利便性を図り、住民サービスを低下することのないようにし、併せて、職員の職場環境を改善したい。

各公民館や交流センターの人員配置は、今後検討するが、現在の人員は確保したい。

## 行財政改革を問う

職員の総力を結集



西嶋二郎 議員

**問**

行財政審議会の提言は、出来るだけ急ぎ努力されるよう望む。

① 移転計画のある大和事務所については、都賀本郷周辺の方の協力・協議を素早く終わっていただきたい。  
② 保育所の見直し計画の中では、19年度の統合計画

であるが、統合・民営化の展望を伺う。

③ 行財政改革を断行するに当り、一番のネック、困難な事は、未収金の徴収とと思う。16年度決算で約2億2000万円の未収金がある。未収金を整理する事こそ、行財政改革の第一歩で



乙原保育所

あると考える。正直者が馬鹿を見る行政であってはならない。歳出のカットだけが行財政改革でなく、歳入

つながるとある。「金が無い、金が無い」ではなく、未収金を整理する事が第一歩と考える。

沖野町長

**答**

① 大和事務所の興課の統合は、都賀本郷の皆様にも十分説明をし、ご理解を賜わる様配慮したい。  
② 保育所の委託先である邑智会と意見調整を図り、21年度に旧邑智地区保育所の統廃合を視野に、18年度を準備期間とし、19年度より乙原保育所を民営化、小松地、内田両僻地保育所は統合したい。  
③ 国民は法律の定めるところにより、納税の義務を担うとされている。平成16年度の滞納件数は41件で、

大部分は1人で数件の重複滞納を占めており、合算すると1人で数百万円に達する事例もある。負担の公平性の原則からみても正直者が馬鹿を見る事態である。徴収率・収納率の向上のため、専門部署を設け、収納体勢を強化すると共に、悪質滞納者に対して、財産差し押えの実施、条例を整備して、住所・氏名等の公表を検討したい。財政健全化に向け、歳入の確保対策と

歳出の抑制対策に、美郷町職員の総力を結集し、住民理解を求めたい。

## 児童・生徒の安全策を問う

危機管理マニュアルに基づき実施

**問**

毎日のようにテレビ・新聞で報道する児童生徒の犠牲になる悲しいニュースには、怒りを感じずにはおられない。学校の中での事件・事故。登下校中の事件・事故等もつとも子供達が安全でなければならぬ場所での事件事故である。あらゆる事を想定

し、危険箇所をチェックして、事件事故を未然に防がなくてはならない。

① 不審者が容易に校地内に入れる状況になっている。  
② 邑智中では、職員室と校庭の間に立木があり、校庭での子供達がチェック出来ない。  
③ 教室廊下側のガラスが

不透明箇所がある。透明にすべきでは。

④ 登下校の安全面、特に通学路の外灯のチェックを。都賀地内の歩道の除雪の考えを伺う。

沖野町長

**答**

① 不審者等の侵入に対する、児童生徒の安全対策は、各学校の危機管理マニュアルに基づき実践的な訓練を通し、児童生徒の安全確保をお願いしている。  
② 邑智中学校の杉は、近々教育委員会において、間引き、伐採を行う。

③ 来年の予算時に、修繕個所の要望を踏まえ対応したい。

今馳教育総務課長

④ 通学路の外灯は、全町にわたるが、県・町・自治会の施設として設置されており、早い時期に調査し、安全マップに印して行きたい。

三島建設課長

都賀地区のみであるが、歩道の除雪を継続して実施したい。朝5時頃から、児童生徒の登校するまでに除雪が終了する体勢でお願いしている。

## 平成18年度の主要施策について

前年度比3億5000万円減の予算



佐竹一夫 議員

**問**

財務課において作成された美郷町中期

財政計画によると、地方債は、平成14年度をピークに

減少していたが、平成18年度は、約1億円増となっている。これに関し、来年度計画されている主要施策について伺う。

沖野町長

**答**

平成18年度予算編成は、歳入不足を基金でおぎなう悪循環から脱却し、持続可能で安定した健全財政の確立に向けた予算編成の方針を定めた。

この方針に基づいて、行財政改革大綱との整合性を保ちながら、歳入一般財源の限界を、42億9000万円と定め、その範囲内で支出を納めることとした。これは、前年度対比3億90

00万円の減である。

この額を各課に一般財源枠として配分し、各課の自由採量で事業計画を調整し、配分額を上まわらない範囲で、予算編成する。平成18年度の建設事業については、7億5000万円では、今年度より1億5000万円の増額となる。この原因は、学校給食センターの建設費1億7000万円の計画している。この事業にかかる起債は1億3000万円である。しかしこの建設については、再度調整の必要があると考えている。

## 自動式除細動器 (心臓電気ショック)の配備について

### 保健所の指導を得ながら検討する

**問**

救急救命士制度が出来て、14年になるが、これにより救命率が2割以上アップしたと言われている。

この原因として、救命士による心臓除細動器の使用であるということが示されている。

この除細動器が、昨年の法律改正により、一般の者でも使用出来るようになった。心臓病は、他の病気と違って、1分1秒をあらそう病気である。町内の2ヶ所にある消防出張所から遠い集落へは、救急車の到着まで時間を要することであ

り、この器具を各学校、公民館等に配備しておき、緊急時に対応出来るようにしてはいかかがか。

沖野町長

**答**

愛知万博会場に配備されていた心臓除細動器の使用で、心肺停止をおこされた数名の方の命が守られたことはニュース等で報じられた。突然死の原因のほとんどが、心臓



AED (自動体外式除細動器)

疾患といわれ、心臓がケイレンしてポンプの役目が果たせなくなるためである。県の調査結果では、現在県内6市町村が配備済みである。

鳥根県の18年度予算要求の中に新規事業として、除細動器普及促進事業が盛り込まれている。今後本町として、保健所の指導を得ながら検討していきたい。

## 議員活動報告

安田勝司

### 一、東京陳情

さる11月20日(日)、県選出の衆議院・参議院の事務所を訪問、この日は月曜日であったが、会えたのは景山俊太郎議員だけであったが、特に国道375号杉ヶ市トネルの早期着工、川本波多線の改良、瑞穂赤米線村の郷地区の改良等を重点要望した。他の議員さん方は秘書の方しっかりお願いをした。

### 二、普通救急救命講習受講

さる12月12日午後、江津邑智消防組合邑智出張所職員及び救急救命士による救急法を全議員が受講した。なかでも自動式除細動器の使用による効果は、かなりあると感じた。



# 住民の声

## 第2の郷里美郷町に思う

粕淵 川角 玲子

早いものでこの地へ嫁ぎ、邑智町の住民となつて40年の歳月が経ちました。第2の郷里は町村合併により美郷町と名を変えました。環境的にも緑の山と豊かな河に恵まれた名前におさわしい町だと思います。それまで名前も知らなかつた邑智町、初めて来た時走つても走つても山しかなくバスの揺れに酔つて道の悪さに驚いたものでした。40年後の今、人々は自家用車で自由に動き舗装はされては来ましたが。まだまだ取り残されているとは思いますが…。待ち望んだ別府トンネルも完成し、あといくらかすれば一番危ない凍る場所は通らなくて良くなるでしょうが、聞けば続く湯抱温泉側は国の予算で延期されたとか、住民の大きな期待は途中でブツリ閉ざされた…。そんな気がしてなりません。小泉首相の構造改革の名の元に若者達は増

税につぐ増税にあえぎ、年金生活者つまりは体も弱り今から一番健康に支障をきたす年齢になつて病院に行くことも出来なくなりそうな医療制度の見なおし。初めて人口の自然減とメディアで取り上げていますがこの状況の中、子供を生み育てていく大変さを思えば恐くて生めないと言うのも良く分り、又憲法九条の改正などと聞かされれば戦争の起こるかも知れぬ世に大切な子供を…嫌だと思つのは当然ではないでしょうか。緑も水もきれいなこの郷里に若い人達が住みたいと思えるようにすることこそが高齢者にとつても又活気をもたらして元気になれると思うことだと思つたのです。働く場所であり通勤ならその為の道であり…。先ずは温泉側道路の完成が一日も早くなるよう県及び国に働きかけて頂きたいと願つていきます。

# 謹賀新年

本年もよろしく  
お願いいたします

美郷町議会議員一同



## 編集後記

朝のテレビ番組でたまたま杜甫の漢詩「野望」を耳にし、その最後に、

跨馬出郊時極目、

不堪人事日蕭條

(馬に跨り郊を出でて

時に目を極めれば、堪えず人事の日に蕭条たるに)とありました。

通釈には「馬に乗り郊外に出て、時に見渡す限りを見れば、人それぞれの生活が、日々にすすんでいくのに、耐え難い思いでいる。」とあります。

12月第4回定例議会において、行財政改革大綱が示され、年度別計画に添って改革が推進されることになりました。

住民の皆さんのご理解を得ながら進められねばなりません。改革はその大義のもと犠牲を伴います。

行政・議会においては、不利益を被る方々の事を常に念頭に置き改革を推進せねばなりません。

J・I 記